

九州通信

～汚染環境を豊かな環境へ
ハーモニーウォーターで溢れる地球にしよう～

Vol. 50 2018年8月 九州支局だより



発行元：
株式会社エステーエプロジェクト
九州支局
〒812-0007
福岡県福岡市博多区東比恵 3-7-3
レマンテ・ヴィラ東福岡 1-1
TEL 092-292-8926
FAX 092-292-8927
ホームページアドレス
<http://www.stspro.com/>



～代表交流会の風景～

生命に焦点をあてた生き方を 太陽が昇るような人生を歩もう

代表交流会 2018年7月14日(土)

梅雨明け後の連休初日、51名もの皆さんの心意気が場を湧かせ、猛暑に負けない熱いひと時となりました。その内容を紹介します。

◆地球が抱える エネルギーの課題

化石エネルギーは、使っていないエネルギーだ。それは、何故か。化石エネルギーの元となった海中の植物は、太古の昔、深さ3千メートルの濃硫酸の中、光合成によって発生した。その植物の葉緑素の中に放射線が入ると放射能汚染が増幅するため、植物が一番、放射性物質を抱えている。自然界にはもちろん、海中にも放射性物質

は降り注ぐので、長い間の蓄積と環境破壊の重なりを考えると、当然の事である。故に、産油国は日本の放射能の害より、更に酷い状況であるといえる。

地球にも太陽にも生命がある。その生命が意味するものとは、生まれて死ぬまでの時間と距離。その長さには長短あるが、その差を生むのは、生き方と環境。今、地球上で発生している空気と海水の温度の上昇は、地球が循環しない限り、元に戻すことはできない。地球も太陽も私たちも生き物。私たちは、地球と共に生き、また、生かされているのだ。

◆溶存酸素の仕組み

生き物にとって、酸素は重要な要素の一つ。例えば、水中では、溶存酸素が少ないと魚は死んでしまう。厳密には、酸素の中の何かがなくなると魚は酸欠になる。それは何か。答えは、酸素の外殻にあ

る合計8つの電子。つまり、溶存酸素0.4%とは、電子の溶存量が0.4%ということ。水の隙間の中に電子をいかに入れるかが大事なのだ。植物、それこそ、切花であっても水中の電子を吸収し、光合成している。光合成の働きは、葉緑素が水を電気分解して、酸素と水素に分けること。生命には、酸素が必要不可欠だが、分解すると簡単に取り出すことができる。一見、難しいようにみえるが、水は、使い様だが、生命には方程式があり、それがどこに向かうかという、生命を継続するか、やめるか、それとも中間なのか。STSの科学は、その中間であり、必要に応じて、酸化と還元を行き来する。これをニュートラルサイエンス(中庸の科学)という。

◆音を伝える電子

我々の生命の信号は、電子が音を伝えることで成立する。では、何が音を伝えるのか。音は、大気中を伝わる。その大気約78%が窒素、約21%が酸素であり、残りの組成成分は、それぞれが微量に

構成されており、水素は、ごく僅かしか存在しない。実際、音を伝えるのは、窒素でも酸素でもなく、その電子が振動して伝えている。例えば、酸素の電子信号が鼓膜に当たると、その振動によって、蝸牛の中の0.5ccの水(リンパ液)に音をイオン化して溶かし、脳に伝える。声も大気を介して電子信号として耳に伝わる。それは、高速で処理が行われ、距離を感じない。そう、生命は、こんなにも科学的に作用しているのだ。

◆腸内フローラの役割

昨今、注目されている腸内フローラは、ハイドライド水素を作る化学反応を起こしている。それは、瞬時に5千5百〜1億ほど行われる。遺伝学において、病気が治るといえることはどういふことか。遺伝子の引き出しが約40億ある中で、その生命の信号は誰が作るのか。腸に信号を送るのは誰か。これを紐解き、解明するには、宇宙に見えない生命が存在し、壮大なプログラムが

あることに気付かなければ、理解できない。

◆道標となる生き方

平和と生命のために我々がなすべきこと、それは、自己主張をせずに共存共生をすること。そして、先祖を敬い、子に良い環境をのこし、生き方を示すこと。それが人の道である。このように世の中が深刻な状況で、我々が一つの生命体として、何をなすべきかが大事なのだ。

森羅万象は、同時に全体のバランスでもあり、そこには、生命を司る水と確かな方向性、科学とテクノロジーが必要である。祈りや宗教だけでは、世の中は豊かにならない。物事は、原因を解決しない限り、実行できないのだ。方向性とは、小異を捨て大同に就くこと。小さな事は、さざ波でしかない。それを実践するために、太陽が昇るような人生を歩もう。我々の目指す、生命に焦点をあてた生き方は、『位置は不定、運動は一定』と肝に銘じ、迷うことなく自信を持って環境運動を進めよう。

感謝を水配りに代えて

福岡県 福岡市 大崎 喜美代さん



Q. STSとの出会いに思うことは？

A. 水企業何百社の中でSTSのハーモニーウォーター（以下HW）に出逢ったことは奇跡であり、本当に感謝でいっぱいです。生命を基準において、不安定を安定にするSTSの科学に感銘を受けました。生命を大事に、共存共栄を実現するSTSの科学があれば、何の不安もなく今後の人生を安心して過ごすことができると思いました。

Q. HWはどのような存在ですか？

A. 地球全てに必要な不可欠。生命の営みに欠かせないものとして、水は宝物です。HWが生命と

続けて手放せない物は、α 39。腸は生命の源だから、どんな時も助けになります。私にとって神頼みのよう。次に、コンクリンガバランス。様々な化学物質や農薬等で汚染されて人も土もミネラル不足になっていくことを考えると、生命には欠かせない大切なもの。

また、60代に健康をすっかりケアすると70代になって助けになる、それにはバイオアミノ30、メビウスエイトを少量でも水と一緒に続けて体に取り入れていくこと。元気な時こそ続けることが大事と思ひ、欠かせない物ばかりです。

Q. 水を配ることに ついて、馳せる思いはありますか？

A. HWに出逢った当初、車いすばいに積んで回った水配りは、私にとつてとても新鮮で、毎日が喜びでした。しかし最近、地球が加速して病んでいく有様に不安を感じ、私の水配りは微々たるものだと焦る毎日



～貢献の形～

です。

支局の学習会に参加すると、これ程までに素晴らしいHWがあるのに、伝えきれないもどかしさに反省しています。また、HWをどう思うか、配るのも大切なことです。一滴でも大切にしたい生命の水。STSのテーマにおいて、もらい水だけで地球環境蘇生はできません。HWを頂くことに対して、皆がそういう思いで意識されると、少しずつ変われるのではないかと思っています。同時に、STSの資料をしっかりと熟読し理解を深めて、体験した事、本物をお伝えする事だと思ひます。

Q. 地球環境蘇生と 貢献の形について 聞かせてください。

A. 皆でHWを使って地球環境を蘇生できる世の中を目指したいと思ひます。その為、生活の基準がどこにあるか皆で考えたいものです。

まずは、自分たち自身で行動に移す事が先決だと思ひました。STS製品は家庭で誰もが使用できるものばかりです。感動と感謝、品位品格をもって大切な方々にお伝えしたいと思ひます。また、「貢献の形」は、私にとって大切なバイブルです。ポロポロになりましたが、毎日持ち歩いています。「死してなお貢献できないか」心に留まる一節です。「死は無にかえるのではなく新しい大自然の創造に参加するものである」大切な一節です。生命を終えても大自然に貢献できる。生命を全うするまでHWに携わって、身も心もきれいな自分でありたいと心に誓いました。さあ、これからの日々はHWの仲間たちときめいて、世界に向けてHWのある暮らしを！楽しい人生を目指して！！

地球の健康と皆の幸せを願う、献身的な大崎さんの周りにはいつも人が集まります。仲間として、同じ心意気で共に歩みたい！

<2018年8月九州支局行事予定>

8 / 5 (日)	【休日営業】納涼会&セミナー決起会
8 / 20 (月)	代表交流会 ※13時半～16時開催
8 / 29 (水)	新しい方のためのハーモニーウォーター学習会

※ 支局行事開催時間 13時半～15時



～手の平ほどに育った支局の青じそ～

<2018年8月～10月セミナー日程>

8 / 19 (日)	福岡セミナー	福岡国際会議場	5 F (501)
9 / 2 (日)	東京セミナー	グランパークプラザ	3 F
9 / 23 (日)	兵庫セミナー	TKP神戸三宮CC	5 F
10 / 14 (日)	STS感謝祭	秋田キャッスルホテル	4 F

※ セミナー開催時間 13時半～16時

編集後記: STSの科学とテクノロジーを手にしたなら、後は私たちがどう使うか、どう行動するか。猛暑が続き、毎日が生命に関わる状況ということを受止め、生命を最優先した活用と普及について、皆で話し合ひましょう。